

令和5年度 奈良県立商業高等学校 学校評価計画表

【高等学校用】

年度	令和5年度(中期計画2年目)
本校の使命(スクール・ミッション)	変化の激しい社会をたくましく生き抜き、地域経済の発展に貢献・活躍できる商業人材の育成
年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの推進とICT機器を活用 ○ インターンシップをはじめとする実学教育の推進 ○ 販売実習等により、地域社会への貢献を目指した地域との協働

1 スクール・ポリシーの内容

教育方針(スクール・ポリシー)	入学者の受け入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)	<p>本校では、以下のような生徒を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣を身に付け、社会に対応できる資質・能力・ビジネスマナーを身に付けようとする生徒 2 商業に関する学習に興味・関心があり、各種資格・検定の取得に意欲的に取り組む生徒 3 自らの目標を立て、目標達成のための手立てや方法を考え、やりきることができる生徒 4 中学校において、学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に取り組み、本校入学後も継続して取り組む意思のある生徒
	教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)	<p>本校では、4つの科それぞれの特色を生かした専門教育により、商業のスペシャリストとしての人材育成に取り組み、その実現のために以下の教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未知の状況にも適切に対応できる思考力・判断力・表現力等を教育活動全体で育めるようにするため、基礎学力の定着と主体的で探究的な学びにつながる授業 2 専門知識・技能を活用した実践力を身に付けるために、販売実習や課題研究などを通して、地域と連携した学び、地域と協働した学び 3 ICT機器の活用を推進し、時代の変化や社会の変化に対応する教育 4 生徒の興味・関心のある研究や学習を行うことで、将来社会で活躍するために必要なビジネススキルであるコミュニケーション能力や企画力、創造力を身に付けること
	育成を目指す資質・能力に関する方針(グラデュエーション・ポリシー)	<p>本校では、ビジネス教育を通して、以下の資質・能力を育成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな人間性・社会性と、社会の変化に適応できる能力 2 商業に関する専門的知識・技能と問題解決能力を有し、組織や社会において生涯に渡り主体的に行動できること 3 ビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付け、他者と協働できること 4 ビジネス教育を通して、知徳体バランスのとれた力を育むとともに、地域の活性化に貢献すること

2 奈良県教育振興基本計画(「奈良の学び推進プラン」)が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和5年度末の目標値等(C)	令和5年度末の状況(D)	自己評価(E)	学校関係者評価(F)
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	健康教育の充実	アレルギー疾患対応校内研修の毎年開催	校内研修の年度中開催			
	食育の推進	食育だより定期的発行(年間3回以上)・朝食摂取率80%	食育だより定期的発行(年間3回以上)・朝食摂取率75%以上			
	体力の向上と運動習慣の定着	新体力テスト4種目以上県平均を上回る・日常的に運動する生徒の割合を70%以上	新体力テスト3種目以上県平均を上回る・日常的に運動する生徒の割合を60%以上			
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	生徒の学びの満足度95%以上	生徒の学びの満足度95%以上			
	ICTを活用した教育の推進	ICT活用指導力向上研修を年3回実施	ICT活用指導力向上研修を年3回実施			
	魅力と活力あるこれからの高校づくり	販売実習「県商マルシェ(仮)」による特色づくり	オープンスクールでの販売実習実施と地域住民への公開			
	学校における働き方改革	超過勤務時間の縮減	ペーパーレス会議による業務改善と管理職による毎週水曜日の定時退勤の声かけ			
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	インターンシップ参加率90%以上	インターンシップ参加率70%以上			
	実学教育の推進	学校設定教科「実学」での外部講師登用年3回	外部講師登用年3回			
	キャリア教育の推進	各学期でのキャリアパスポートの活用	各学期でのキャリアパスポートの活用			
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティスクールの運営	学校運営協議会の令和4年度設置と年3回の実施	学校運営協議会の年3回の実施			
	地域活性化のための取組	学校設定教科「実学」で地域課題への取組を発表	取組成果を校内発表			
	地域社会に貢献する人材の育成	販売実習「ソラほんまちフェスタ」等地元イベントへの参加	販売実習「ソラほんまちフェスタ」等・地元イベントへの参加			
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	人権教育学習資料の活用	「なかまとともに」を活用したLHRの実施	グループワークなどで生徒と一緒に考えるLHRを目指す			
	いじめ・不登校への対策	学校いじめ防止基本方針に基づく取組の徹底・いじめ・ヤングケアラー等早期発見・早期対応	いじめアンケート、ヤングケアラー実態調査等の実施、担任との個別面談を年2回以上実施			
	特別支援教育の推進	個別的教育支援計画や個別の指導計画の実効性のある活用	学年主任会、特別支援教育推進委員会の定期的開催			

3 評価結果の分析、今後の改善方策等

--